

## SDGs 達成期限 2030 年までに 電気バス等保有率 40%達成に向け取組みます



つくばみらい市で運行している電気バス  
コミュニティバス「みらい号」



関東鉄道株式会社（本社：茨城県土浦市 取締役社長：松上 英一郎）では、SDGs（持続可能な開発目標）の達成期限である 2030 年までに電気バス等電動車の保有率を全車両の 40%以上とする目標を設定しました。

当社のグループ経営理念・行動指針「環境」に基づき、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組むもので、SDGs 目標「7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「13. 気候変動に具体的な対策を」にも貢献するものと考えております。また、災害時には電源供給車として活用します。

なお、茨城県つくばみらい市では、コミュニティバス「みらい号」の小絹ルートにおいて 4 月 1 日から県内初の電気バスを運行しており、当社がその運行を受託しております。

以 上